

まちのチカラを引き出した PPPアワード 2020

応募期間

2020.6.1(月)～7.31(金)必着

主催 日経BP 総合研究所

『まちからアワード』は、人口20万人未満の自治体における「健康・福祉」「賑わいづくり」「SDGs」の3テーマに関する公民連携の事業について、それぞれの先進的な取り組みを広く周知することにより、公民連携事業の質的向上を図るほか、中小規模の地方自治体におけるPPP導入検討、民間事業者の参入を促します。これにより、全国の地域の活力を高めることを目指します。

テーマ

健康・福祉

賑わい創出

SDG s

募集概要

応募対象事業	人口20万人未満（2020年1月1日時点・住民基本台帳ベースの人口）の自治体における「健康・福祉」「賑わいづくり」「SDGs」のいずれかをテーマとした公民連携事業。 ・2020年度に開始した事業は含みません（年間の目標と実績が示せるもの）。 ・定量的、定性的な目標と成果が示せるもの。 ・単発のイベントは応募不可といたします。 （イベントについては、課題解決目標のため継続的に開催しているもののみ対象とします）。
応募主体	対象となる事業を実施する人口20万人未満の地方自治体、または民間事業者。ただし、民間事業者による応募は必ず連携する自治体の連名の応募であること。
応募方法	応募様式に必要事項を記載のうえ、期日までにウェブ上の応募ページまたは、郵送にて提出をお願いします。応募様式補足資料（様式自由・応募様式に収まらない図面・写真・パンフレット等の電子データ資料）も同様です。
応募先	ウェブの応募ページ https://nkbp.jp/ppp-award 郵送 〒134-8585 東京都江戸川区臨海町5-2-2C棟6階 株式会社アテナ内 日経BPコンサルティング PPPアワード受付係
審査の方法	日経BP総合研究所の研究員で構成される「審査委員会」において行います。
審査委員	安達 功（日経BP 総合研究所 所長、日経BP 執行役員） 高橋 博樹（日経BP 総合研究所 戦略企画部長／ソリューション・アーキテクト） 黒田 隆明（日経BP 総合研究所 戦略企画部 「新・公民連携最前線」編集長） 徳永 太郎（日経BP 総合研究所 社会インフラ ラボ 所長） 井出 一仁（日経BP 総合研究所 主席研究員） 神保 重紀（日経BP 総合研究所 主席研究員）

結果発表 2020年9月下旬頃

受賞者は「新・公民連携最前線」にて発表のうえ掲載予定です。
また、上位入賞の事業については、別途個別に取材を行い、「新・公民連携最前線」にて先進事例として記事化を検討します。

公式ウェブサイト 詳しくは「新・公民連携最前線 | PPPまちづくり」を検索してください。

URL : <https://project.nikkeibp.co.jp/ppp/>



お問い合わせ

日経BPコンサルティング PPPアワード受付係
<https://nkbp.jp/bpcfom> こちらのフォームよりお問い合わせください。
※調査番号：1207842BP、調査名：PPPアワード と記載してください。
※本アワードの応募受付業務は日経BPの委託により日経BPコンサルティングが実施しています。